

1. 化学品及び会社情報

製品名	: カラーマスター
会社	: タキロンシーアイ株式会社
住所	: 〒671-2421 兵庫県姫路市安富町長野 405
担当部門	: 安富工場 技術グループ
電話(緊急連絡先)	: 0790-66-2285
ファックス	: 0790-66-2378
作成日	: 2017年4月1日
改訂日	: 2023年7月14日

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激	: 区分2B
刺激性	
発がん性	: 区分2
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分1

(注) 記載なきGHS分類区分: 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: 眼刺激 発がんのおそれの疑い 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
注意書き	
安全対策	: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。 指定された個人用保護具を使用すること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
応急措置	: 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
貯蔵	: 施錠して保管すること。
廃棄	: 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分名	含有量(%)	化審法番号	CAS No.
フタル酸ジイソニル	30 - 70	3-1307	28553-12-0
二酸化チタン	0 - 60	1-558	13463-67-7
銅フタロシアニングリーン	0 - 30	5-3315	1328-53-6
銅フタロシアニンブルー	0 - 30	5-3299	147-14-8
C.I. ピグメントイエロー 83	0 - 20	5-3169	5567-15-7
イソインドリノン系顔料	0 - 30	5-3185	5590-18-1
ポリアゾ系顔料	0 - 20	—	79953-85-8
ジケトピロロピロール系顔料	0 - 20	5-5896	84632-65-5
C.I. ピグメントイエロー 42	0 - 20	—	51274-00-1
酸化第二鉄	0 - 20	1-357	1309-37-1
カーボンブラック	0 - 10	—	1333-86-4
炭酸カルシウム	0 - 10	1-122	471-34-1
群青	0 - 10	1-22, 5-3310	57455-37-5
キナクリドン系顔料	0 - 10	5-1167	1047-16-1
キナクリドン系顔料	0 - 10	5-1168	980-26-7
添加剤	0 - 2	非公開	非公開

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

- 一般的な措置 : 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚(又は髪)に付着した場合 : 水と石鹼で洗う。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中をよく洗う。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。
周辺設備に適した消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤 : 棒状水を使用してはならない。
- 特有の消火方法 : 消火作業は、離れた風上から行う。
消火の為の放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流失しないよう適切な措置を行う。
関係者以外は安全な場所に退去させる。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火作業従事者は、適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 関係者以外は近づけない。
回収が終わるまで十分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。
こぼれた場所はすべりやすいため注意する。
- 環境に対する注意事項 : 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを取り除く。
着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- 取扱者のばく露防止 : 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
適切な保護具を使用する。
- 火災・爆発の防止 : 静電気に対する予防措置を講ずる。
- 安全取扱注意事項 : 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
指定された個人用保護具を使用すること。
- 衛生対策 : 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
休憩、終業時は手を洗う。
休憩、終業時はうがいする。

保管

- 安全な保管条件 : 施錠して保管すること。
乾燥した場所で密閉容器に保管すること。
- 避けるべき保管条件 : 熱源から離して保管する。
直射日光を避けて保管する。
- 安全な容器包装材料 : 製品の容器包装材のまま保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

- 管理濃度 : データなし
- 許容濃度
- 二酸化チタン : 日本産衛学会(第2種粉塵)
(吸入性粉塵) 1mg/m³; (総粉塵) 4mg/m³
- 酸化第二鉄 : 日本産衛学会(第2種粉塵)
(吸入性粉塵) 1mg/m³; (総粉塵) 4mg/m³
- カーボンブラック : 日本産衛学会(第2種粉塵)
(吸入性粉塵) 1mg/m³; (総粉塵) 4mg/m³
- 二酸化チタン : ACGIH(2021) TWA: 2.5mg/m³(R) (下気道刺激; 肺塵症)

酸化第二鉄	: ACGIH(2006) TWA: 5mg/m ³ (R) (じん肺)
カーボンブラック	: ACGIH(2011) TWA: 3mg/m ³ (I) (気管支炎)

ばく露防止

設備対策 : 適切な換気のある場所で取扱う。

保護具

呼吸用保護具 : 適切な呼吸用保護具を着用する。

手の保護具 : 適切な保護手袋を着用する。

眼の保護具 : 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体 (ペースト状)
色	: 各色
臭い	: データなし
融点/凝固点	: -45°C
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 403°C
可燃性(ガス、液体及び固体)	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: データなし
引火点	: 235°C
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度(水)	: データなし
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: データなし
相対ガス密度(空気=1)	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照すること。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: [日本公表根拠データ] (フタル酸ジイソノニル): rat LD50>9800mg/kg (EU-RAR, 2003) (二酸化チタン): rat LD50 >5000mg/kg (SIDS, 2015) (銅フタロシアニングリーン) : rat LD50>2000mg/kg (厚労省既存化学物質毒性 DB, (Access on Sep. 2016)、SIDS (2010)) (銅フタロシアニンブルー): rat LD50>10000mg/kg (SIDS, 2002) (酸化第二鉄): rat LD50 >10000mg/kg (HSDB, Access on July 2019)
急性毒性（経皮）	: [日本公表根拠データ] (フタル酸ジイソノニル): rabbit LD50>3160mg/kg (EU-RAR, 2003) (二酸化チタン): hamster LD50>10000mg/kg (HSDB, Access on May 2016)
急性毒性（吸入）	: [日本公表根拠データ] (二酸化チタン): dust: rat LC50 >5.09mg/L (SIDS, 2015) (酸化第二鉄): dust: rat no death at 5.05mg/L (REACH 登録情報, Access on Aug. 2019)
皮膚腐食性／刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: [日本公表根拠データ] (二酸化チタン) cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 93, 2010 et al.) (カーボンブラック) cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 93, 2010 et al.) [IARC] (二酸化チタン) Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない (酸化第二鉄) Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない (カーボンブラック) Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない [ACGIH] (二酸化チタン) A3(as Finescale particles)(2021) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明 (酸化第二鉄) A4(2006) : ヒト発がん性因子として分類できない (カーボンブラック) A3(2011) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
生殖毒性	: [日本公表根拠データ] (フタル酸ジイソノニル): cat. 2; rat : EU-RAR, 2003
催奇形性	: データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: [区分 1] [日本公表根拠データ] (酸化第二鉄):呼吸器 (ACGIH 7th, 2006; HSDB, Access on July

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 2019) [区分 1] [日本公表根拠データ] (二酸化チタン): 呼吸器 (SIDS, 2015) (酸化第二鉄): 呼吸器 (ACGIH 7th, 2006; DFGOT vol.2, 1991) (カーボンブラック): 呼吸器 (SIDS, 2007)
誤えん有害性	: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)	: [日本公表根拠データ] (フタル酸ジイソノニル) 魚類 (ファットヘッドミノー) LC50 \geq 0.14mg/L/96hr, 甲殻類 (オオミジンコ) EC50 \geq 0.086mg/L/48hr (EU-RAR, 2003) (二酸化チタン) 甲殻類 (オオミジンコ) EL50 $>$ 100mg/L/48hr (SIDS, 2015) (銅フタロシアニングリーン) 甲殻類 (オオミジンコ) EC50=153.6mg/L/48hr, 魚類 (ニジマス) LC50=355.6mg/L/96hr (SIDS, 2010) (カーボンブラック) 甲殻類 (オオミジンコ) EC50 $>$ 5600mg/L/24hr (SIDS, 2007)
水生環境有害性 長期(慢性)	: [日本公表根拠データ] (銅フタロシアニングリーン) 甲殻類 (オオミジンコ) NOEC \geq 1mg/L/21days (SIDS, 2010)
水溶解度	: (フタル酸ジイソノニル) $<$ 0.01 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2004) (二酸化チタン) 溶けない (ICSC, 2002) (銅フタロシアニンブルー) 溶けない (ICSC, 2006) (酸化第二鉄) 溶けない (ICSC, 2004) (カーボンブラック) 溶けない (ICSC, 2010) (炭酸カルシウム) 非常に溶けにくい (14 mg/l, 25°C) (ICSC, 2012)
残留性・分解性	: (フタル酸ジイソノニル) BOD による分解度: 74% (既存点検, 2002)
生体蓄積性	: (フタル酸ジイソノニル) log Pow=8.8 (ICSC, 2004) (銅フタロシアニンブルー) log Pow=6.6 (calc.) (ICSC, 2006)
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法 : 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類 : 分類または区分 : 該当しない。
特別の安全対策 : 直射日光、雨にばく露されないように運搬する。

国内規制がある場合の規制情報 : 該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

労働安全衛生法

名称等を表示し、又は通知すべき
危険物及び有害物 : 名称表示危険/有害物
二酸化チタン; 銅フタロシアニングリーン; 銅フタロシアニンブルー;
C.I. ピグメントイエロー 42;酸化第二鉄;カーボンブラック
名称通知危険/有害物
二酸化チタン; 銅フタロシアニングリーン; 銅フタロシアニンブルー;
C.I. ピグメントイエロー 42;酸化第二鉄;カーボンブラック

化学物質管理促進(PRTR)法 : 該当しない

消防法 : 指定可燃物可燃性固体類

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7253 : 2019
Supplier's data/information

責任の限定について

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。